



ちゅうおう

発行：校長 松良 秀治

あいさつを考える

あいさつを推奨されている戦前の学識者がいます。森信三先生です。少し紹介します。森先生は、「しつけこそ教育の基礎である」と、その重要性を強調されています。

「しつけ」とは、子どもの所作や動作について、対人的な人間関係を軌道に乗せる上で、最も基本的なものを若干選んで、それを反復して身に付けさせるように努力することが大切だとされています。そして永く心ある日本人の間に伝承されてきたものとして、森先生は、三つの躰をあげ、「しつけの三原則」とされました。

- ①朝必ず、親やその他の家人に対してハッキリとあいさつすること
- ②親に呼ばれたら、必ずはっきり「ハイ」と返事をする
- ③はきものをぬいたら必ずそろえ、席を立ったらイスを入れること

朝のあいさつは、人間の「よびかけ」の開始であり、「ハイ」という返事は、それに対する「応答」であり、こうして生命の初歩的循環ができるのです。「はきもの」のしつけは、行為のしめくりであるとともに、次の一歩への準備となります。

さらに朝のあいさつと「ハイ」の返事は、**心のコップ**が上向きになって、相手の言うことが聞けるようになることであり、ハキモノとイスのしつけは、人間のきまりを身に付けさせることと述べられています。**やかんさんとコップさん**の話は過日集会で子どもたちに話しました。機会があれば子どもたちに聞いてみてください。



「おはようございます。」の朝のあいさつは、本当に「笑顔で過ごせるおまじない」だと思います。2月7日に次年度の新入生入学説明会を行いました。中央小学校に来られたお客さんが、「あいさつがしっかりできますね。」と褒めていただいた話をし、学校でも大切な活動として大事にしていることを伝えました。朝交差点に立って交通安全の活動をしていると子どもたちから「おはようございます。」とあいさつをしてくれます。背中を向けている時も声をかけてくれる子どももいます。さわやかな気分がとても気持ちよくなり、うれしい限りです。今後も「あいさつ」は、大事なことなんだと伝えていきたいと思っています。

セカンドステップに取り組んでいます

今年度も中央小学校は、セカンドステップに取り組んでいます。学期に1回なので今回が今年度3回目になりました。講師先生として軒野先生に来てもらっています。バックアップティーチャーとして、時には前に立って子どもたちに教えていただいています。低学年とふれあいの子どもたちに対して取り組んでいて、今年で3年目になり、3年生は3年間積み重ねてきたこととなります。



セカンドステップの授業は、①自分と相手の気持ちについて、②問題をどのように解決したらよいか、③怒りを感じたときにどうすればよいか、を学んでいきます。今年度は、1年生、2年生、3年生、支援学級と取り組みの幅を広げました。子どもたちの成長過程の中で、他者とのコミュニケーションを上手にできる力を育てたり、怒った感情をそのまま相手にぶつけてケンカになる前に一呼吸おく力を身につけてほしいからです。



この数年間で実際にその効果を実感したことが何回もあります。イライラして失敗したときにどうしたらよかったか振り返ることができた子もいました。感情を抑えられず、人に当たってしまいそうなときに、その場から離れて、ひとりで落ち着く子どももいました。実感として、セカンドステップは子どものためになると思っています。実際今年度大人に声をかける言葉遣いがちょっと変わってきた子どももいました。

セカンドステップに限らず、道徳や特別活動、様々な教育活動を通じて、子どもたちには、感情のコントロールを身に着け、相手を受け入れ、自分の思いを伝えられるよう成長して行ってほしいと思います。



3月の下校時間変更について

地域のみなさま、子どもたちの安全見守りをしていただきありがとうございます。

3月で普段と違う下校時間等についてお知らせします。

3/14:卒業式準備 1～4年、6年 13:30分下校

3/15:卒業式6年式後下校 5年 11:30下校 1年～4年休み

3/19:大掃除 14:40下校 3/22:修了式 10:30下校

